



東松島市西部包括だより

電話:0225-90-3757 vol.13

2023年4月



つづらごにご用心!

(帯状疱疹)

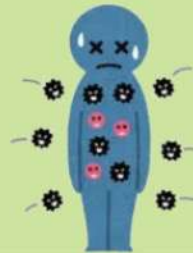


○どうして「つづらご」っていうの?

東北地方の方言です。つづらご（ヒヨドリジョウゴ）という植物の実のなり方が帯状疱疹に似ていることが由来と言われています。※諸説あります。

○原因は?

水ぼうそうをおこすウイルスの感染が原因です。加齢やストレス、疲労などで免疫が弱った時に現れやすく、再発することもあります。



○症状は?

例



かゆみとピリピリ・チクチクした痛みの後に体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い斑点と水ぶくれが多数集まって帯状に現れます。首、腕や胸、背中、お腹、顔など全身のどこにでもできます。治療が遅れると、皮膚の見た目が治っても、神経痛などの後遺症が残ってしまうことがあります。

○治療は?

合併症や後遺症を引き起こさないためにも、帯状疱疹の疑いがある時には速やかに皮膚科や内科などの医療機関を受診しましょう。



症状が軽い場合や中程度の場合には、内服薬（飲み薬）の抗ウイルス薬で治療することができます。

症状が重い場合や免疫力が低下している場合には、抗ウイルス薬の点滴による治療が必要となることがあります。

その他、症状に応じて、塗り薬や痛み止めが用いられることもあります。自己判断での市販薬の使用は、悪化させてしまう事もあります。

○予防は?

日頃から十分な休息をとりながら免疫力の維持を心がけ、免疫力を低下させる疲労やストレスのない規則正しい生活を送りましょう。

50歳以上の方は、ワクチン接種で予防することができます。ワクチン接種については、医師にご相談ください。

※予防接種は帯状疱疹を完全に防ぐものではありません。

